

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

講習動画: 清潔・不潔

東京iCDC専門家ボード
感染制御チーム

労働安全衛生総合研究所
産業保健に関するWHO協力センター
吉川 徹 先生



清潔・不潔

清潔・不潔

ポイント1 床は清潔ではありません

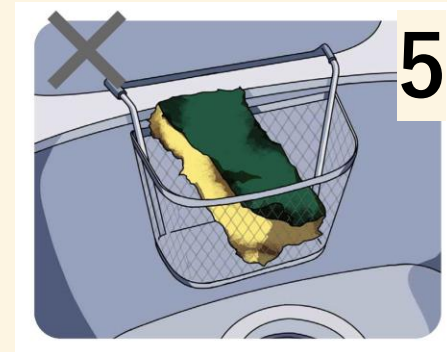
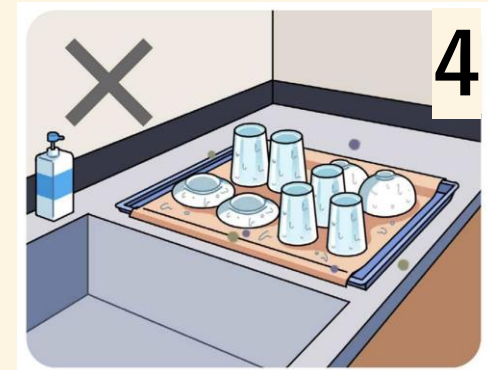
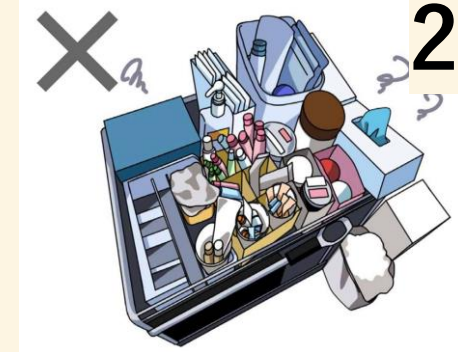
ポイント2 包交車は清潔なもののみ配置します

ポイント3 うがいは環境を汚染させやすいので
注意が必要です

ポイント4 食器の乾燥方法に注意しましょう

ポイント5 スポンジは定期的に交換します

ポイント6 詰替式の容器は洗浄して使用します



清潔・不潔

清潔・不潔

「清潔（せいけつ）」とは

- ・滅菌した状態

（すべての微生物を死滅させた状態）

- ・滅菌できないものでは殺菌した状態

（一部の微生物は生き残っているが、クリーンな状態）



アルコール消毒液で
微生物（ばい菌）を
死滅させる
（手を清潔にする）



「不潔（ふけつ）」とは

- ・清潔でない状態すべてを指し、不衛生だけでなく日常の生活状態も含まれます。



微生物（ばい菌）は
目に見えません

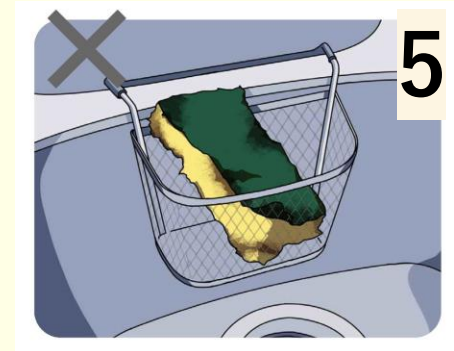
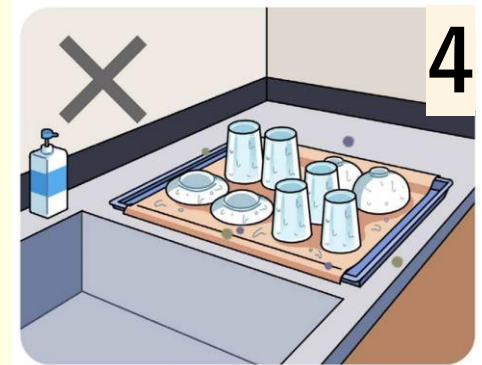
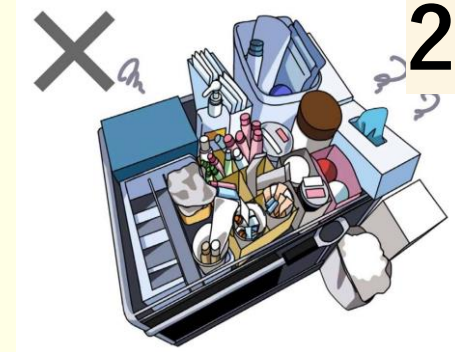
不潔な手で触れた
物品も不潔です。

清潔・不潔

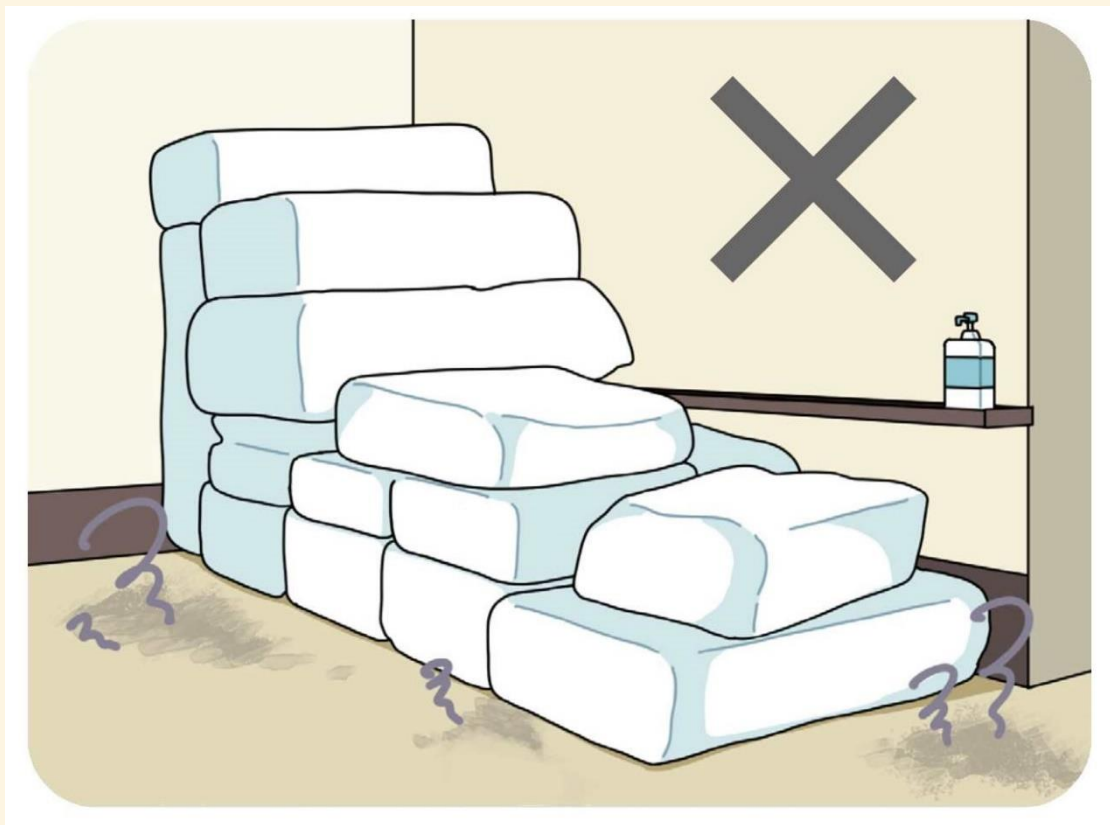
清潔・不潔

右図のそれぞれの事例は、なぜ間違った事例なのでしょうか。

清潔、不潔の考え方からそれぞれのポイントを見ていきましょう。



ポイント1 床は清潔ではありません



✕ 間違った事例

清潔な物品を床に直接置いている。

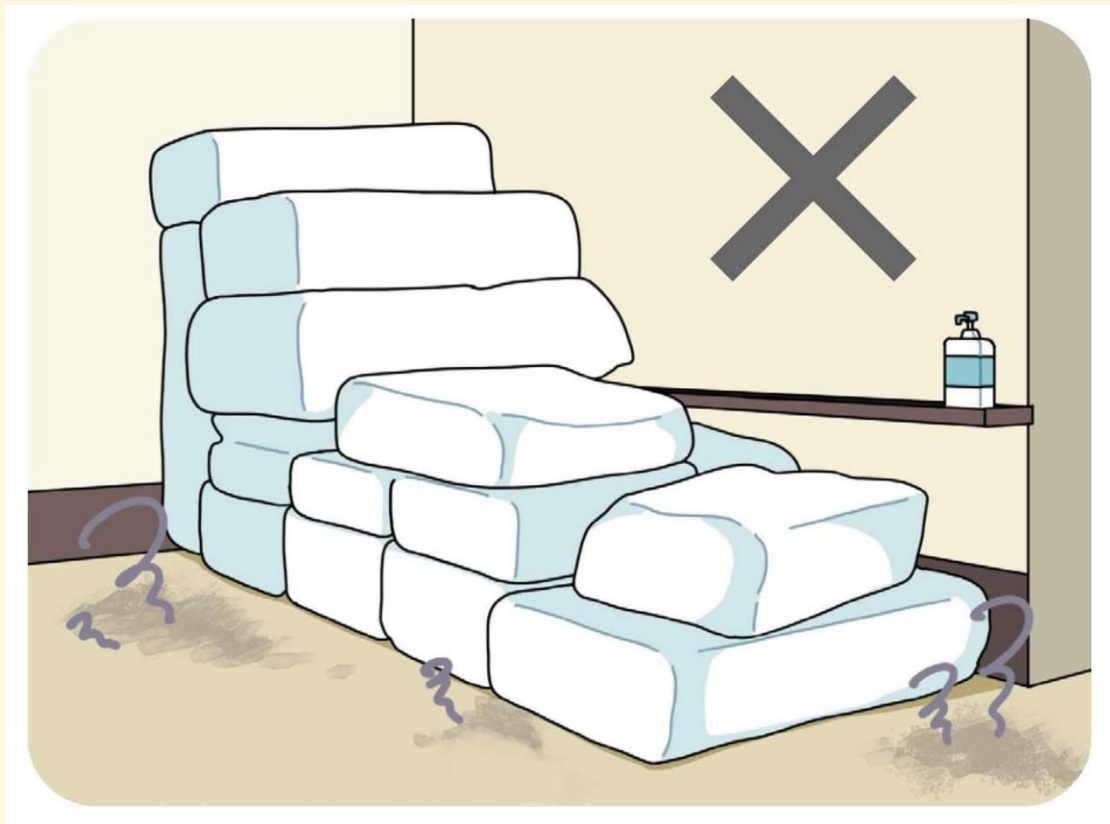
○ 正しい事例

清潔な物品は、床から30cm以上離して置いている。

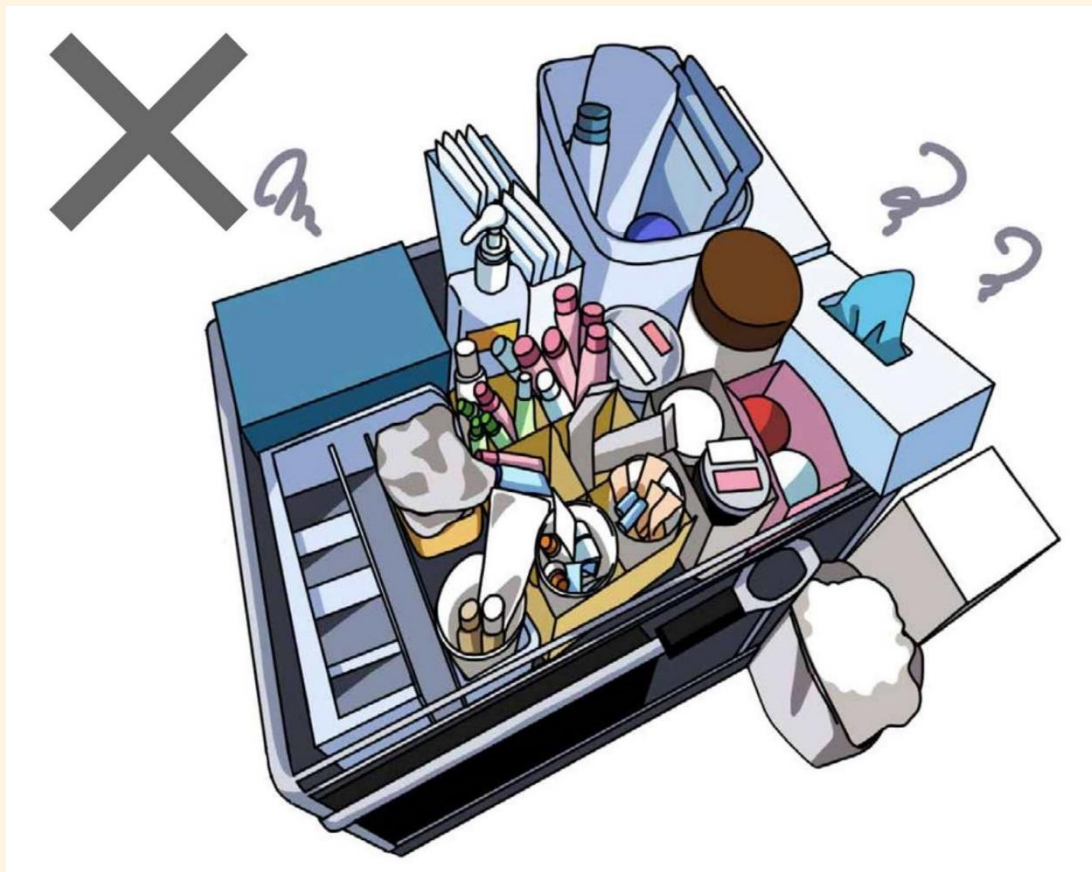
ポイント 1 床は清潔ではありません

解説

- ・床は平時から不潔なものとして取り扱います。
- ・洗濯後の清潔なシーツや衣類、タオルなどは床に直接置くと汚染されます。
- ・棚や台を活用して、床から30cmまでの間に清潔なものを置かないようにします。
- ・また、床は清掃しやすい状態を保ちましょう。



ポイント2 包交車は清潔なもののみ配置します



✕ 間違った事例

包交車に清潔なもの、不潔なものが混在している。

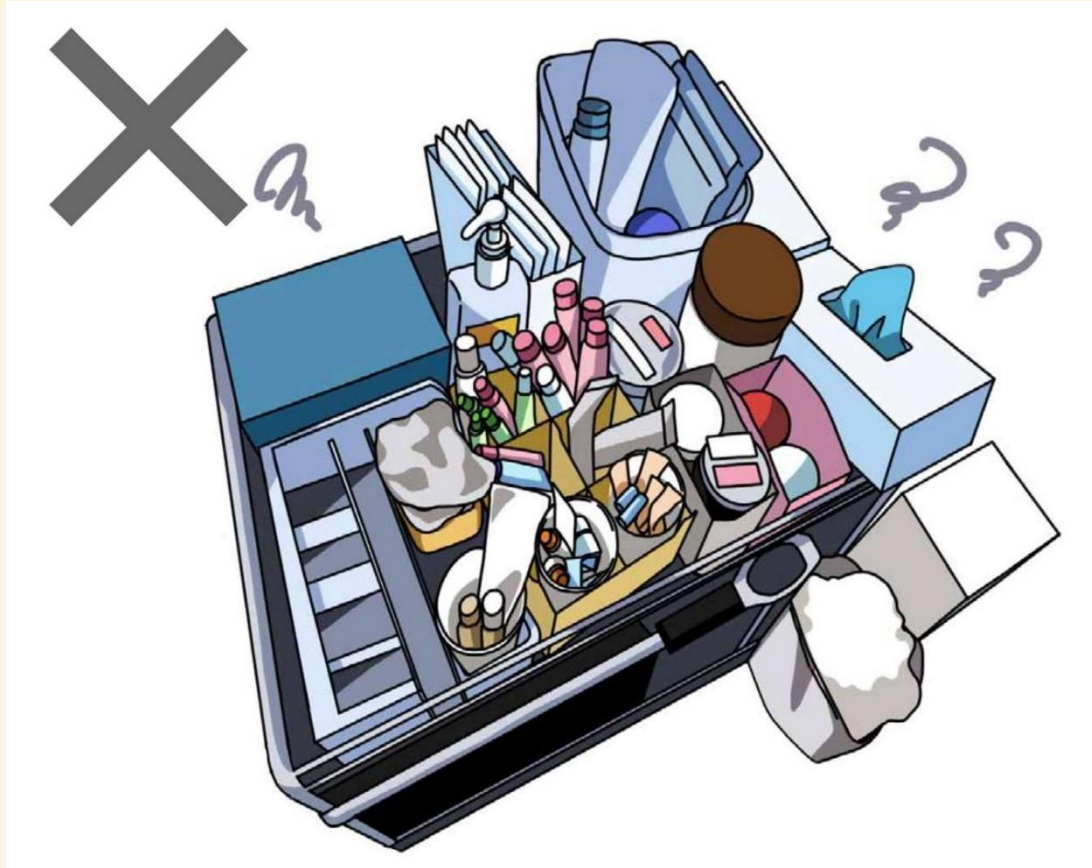
○ 正しい事例

包交車は清潔なもののみ配置します。

ポイント2 包交車は清潔なものののみ配置します

解説

- ・包交車には不潔なものは載せず、清潔なものののみ載せましょう。
- ・包交車の上段には不要な物品を置かず、清拭しやすくすることが望ましいです。
- ・また、個人用の軟膏類は個別管理とします。



ポイント3 うがいは環境を汚染させやすいので注意が必要です



✕ 間違った事例

共用の手洗い場でうがいをする。

○ 正しい事例

うがいをする場所と共用の手洗い場は分ける。

ポイント3 うがいは環境を汚染させやすいので注意が必要です

解説

- ・うがいは、吐き出した水で共用の手洗い場を汚染する可能性があるため、注意が必要です。

- ・利用者がうがいをするときは、居室など各利用者個人が使用する場所を使用してもらうことで共用の手洗い場と分けるか、場所の確保が難しい場合は、うがい後速やかに清掃しましょう。



ポイント4 食器の乾燥方法に注意しましょう



✕ 間違った事例

タオルの上で濡れた食器を乾燥させる。

○ 正しい事例

食器を洗浄可能な水切りカゴで乾燥させる。

ポイント4 食器の乾燥方法に注意しましょう

解説

- ・濡れたタオルは、細菌の温床になります。
- ・濡れた食器の下にタオルやペーパータオルを敷いて、食器や物品を乾燥させるのは適切ではありません。
- ・洗浄可能な水切りカゴで乾燥させ、乾燥後は扉のついた食器棚へ片付けましょう。



ポイント5 スポンジは定期的に交換します



✕ 間違った事例

古いスポンジを長期間交換していない。

○ 正しい事例

スポンジを定期的に交換している。

ポイント5 スポンジは定期的に交換します

解説

- ・ スポンジは細菌等が増殖するので、使用後は洗浄し、十分に水気を絞って乾燥させる必要があります。
- ・ また、1週間に1回程度が新しいスポンジに交換する目安です。



ポイント6 詰替式の容器は洗浄して使います



× 間違った事例

ハンドソープなどの詰替式容器を洗浄・乾燥せずに中身を継ぎ足して、長期間使用している。

○ 正しい事例

詰替式の容器は、洗浄・乾燥後に中身を詰め替えて再利用している。

ポイント6 詰替式の容器は洗浄して使用します

解説

- ・ 詰替容器の洗浄・乾燥が行われないと、水場を好むグラム陰性菌等に汚染されるリスクがあります。
- ・ また、詰替時にチリやホコリが混入し、芽胞汚染を受ける可能性があります。



まとめ

清潔・不潔

- 1 床は清潔ではありません
- 2 包交車は清潔なもののみ配置します
- 3 うがいは環境を汚染させやすいので注意が必要です
- 4 食器の乾燥方法に注意しましょう
- 5 スポンジは定期的に交換します
- 6 詰替式の容器は洗浄して使用します

